



プトラ・マレーシア大学

Universiti Putra Malaysia

マレーシア



●学生 約30,700人 ●教員 約1,800人

ホームページ <http://upm.edu.my/>

交流協定締結年月日：2019年11月18日 主管学部：医学部



国際交流の特色

プトラ・マレーシア大学(UPM)は、1931年に設立された農業学校を起源としています。1947年にマラヤ農業大学が設立され、1973年に農学部、林学部、獣医学部を擁するUPM (Universiti Pertanian Malaysia)に発展しました。その後1980年代に幅広い科学技術分野に拡張され、1997年にUPM (Universiti Putra Malaysia)に改称されました。現在はマレーシアの科学技術の中心をなす大学のひとつとして中心的な役割を担っています。首都クアラルンプール南部郊外、マレーシアの政府機関が立地するプトラジャヤに隣接したSelangor州Serdangに、アジアでも有数広大な敷地を有しています。農学部、林学部、獣医学部、経済経営学部、工学部、教育学部、理学部、食品科学部、人間生態学部、現代言語コミュニケーション学部、デザイン学部、医学健康科学部、コンピュータ科学情報学部、バイオテクノロジー・バイオ分子科学部、環境学部、農業食品科学部を擁し、広範な科学技術分野をカバーする総合大学ですが、ハラル製品研究所、熱帯雨林・林産研究所といった特色のある研究所を運営しています。2024年度のTHEランキングは501-600、アジアランク102、QSランキング158であり、特に国際性が高く評価されています。

交流実績（令和4年度～令和6年度）

受入・派遣	年度	R4	R5	R6
学生の受入		0	10	0
学生の派遣		29	3	8
研究者・職員の受入		0	1	0
研究者・職員の派遣		3	1	2
オンライン交流参加者（本学）		8	0	0
オンライン交流参加者（相手機関）		0	0	0



2016年10月、Soh Kim Lam 看護部門長、Salimah Japar 講師が、本学、前インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。

教員からの声

UPMはマレーシア国内でも高く評価されている大学であり、本学のマレーシアにおける拠点大学として重要なパートナーです。2016年10月にUPMのSoh Kim Lam 看護部門長らの本学訪問を契機として交流が始まり、2017年度～2019年度さくらサイエンスプランにて若手研修者計6名を招聘し生活習慣病関連分野の研修を実施する一方、本学の教員がUPMを訪問して協議し、2019年11月18日に交流協定の締結に至りました。最近も、コロナ禍にもかかわらず大学院生1名が医学系研究科に入学したほか、学生主宰の交流イベント等が開催されています。さらに2023年3月には20名の香川大学生を派遣して以降、本プログラムは継続実施されています。このように、関係の発展・強化が着々と進んでいます。

医学部国際交流委員会委員・教授 和田健司

学生からの声

私はマレーシア・多文化体験プログラムに参加しました。マレーシアの文化や歴史についての講義を受けたり、ASEANの会議が行われているホテルを見学をしたりと、旅行では味わえない貴重な体験ができました。そして、マレーシアに住む人と深く関わったことが、このプログラムの最大の良さであると感じました。約1週間という短い期間ですが、常にバディの学生やスタッフの方と過ごしたため、彼らの優しさや温かさにたくさん触れることができました。

また、帰国後、観光に来ていた外国の方に英語で話しかけることができ、「積極的に英語で話しかけられるようになりたい」という目標も達成しました。マレーシアでの暮らしや人との関わりを通して、文化や考え方の違いを感じたい人や、変わるべききっかけが欲しいと考えている人にもこのプログラムはおすすめだと思います。 令和6年度教育学部3年 末澤奈々